

# しまだ 議会だより

## No.2

6月定例会

2005(平成17)年9月1日発行  
発行 島田市議会

〒427-8501 静岡県島田市中央町1番の1

☎ <0547>36-7204

FAX <0547>37-2212

メールアドレス gikai@city.shimada.shizuoka.jp



### ■金谷図書館

生涯学習センター「みんくる」  
内にある金谷図書館は、夏休み  
中にも多くの学生や一般市民が  
訪れました。

これからの読書の秋に足を運  
んでみてはいかがでしょうか。

### 目次

○定例会の概要	2
○ザッ討論「賛成vs反対」	4
○常任委員会報告	5
○一般質問「19人が登壇」	6
○意見書&決議	16

# 新市 平成17年度当初予算 12会計 671億円を可決！

## 参与設置条例を否決！

新島田市として初めての議会定例会が、6月16日から7月14日まで29日間にわたり開催されました。

議会構成は「議会だより（創刊号）」でお知らせしました。そのほか、専決処分・平成17年度予算・条例・人事案件・特別委員会の設置等々が議決されました。詳しくは一覧表をご覧ください。

### 予算

平成17年度新島市当初予算一般会計を含む12会計を、各常任委員会で審査の後、賛成多数等で可決しました。各会計の総額については表のとおりです。

### 条例等

市議会会議規則をはじめ、8つの条例および規則等を可決し、参与設置条例を賛成少数で否決しました。参与設置条例についての討論は4ページをご覧ください。



今回の議会は、地球にやさしいクールビズで行われました。

### 平成17年度各種会計予算額

(単位：万円)

会計名		予算額
一般会計		313億4400
特別会計	国民健康保険	73億3174
	簡易水道	4403
	交通災害共済	296
	土地取得	1億1898
	休日急患診療	1248
	老人保健医療	74億5130
	公共下水道	10億3906
	介護保険	45億3842
	介護サービス	5956
企業会計	水道	14億1066
	病院	137億6350
<b>合計</b>		<b>671億1669万円</b>

(万円未満切り捨て)

(注) 表中の差引額の不整合は、端数整理によるものです。  
(企業会計は消費税を含めた額)

### 専決処分の承認

市長（職務執行者）が、合併直後に議会開会が不可能なため、専決処分した194件について報告を受け、議会が承認しました。194件の内訳は、5月～7月までの暫定予算12件、条例（市役所の位置を定める条例等）179件、その他3件でした。いずれも5月5日から執行・施行等が必要なものであり、専決処分を承認しました。

### 人事案件

次の委員等を同意しました。  
 収入役 大石 重範  
 監査委員 渡邊 紘  
 教育委員 坂下 修  
 松田 宏  
 小関 秀利  
 染谷 絹代  
 鈴木 和子  
 村山 孝之  
 小林 宏壽  
 山本 熊平  
 櫻井 二六  
 青島 仲雄  
 河本 源六郎  
 佐塚 次郎  
 仲山 辰夫  
 中村 修  
 平口 徹

(敬称略)

固定資産評価員  
 松浦 正博

選挙管理委員会委員及び補充員の選挙を指名推薦により行いました。  
 選挙管理委員 八木 勇  
 山下 文夫  
 古木 米治  
 河村 美佐子  
 池谷 清  
 高須 伶子  
 渡邊 君江  
 兼森 謙

(補充員)

農業委員を議会推薦しました。  
 農業委員 天野 富二夫  
 池ヶ谷 かよ  
 井村 貢  
 松本 洋子

# 議会議決一覧

# ～こんなことを決めました～

○専決処分	
平成17年度島田市一般会計暫定予算ほか11件	承認
島田市役所の位置を定める条例ほか178件	承認
救急医療事務の委託	承認
島田市指定金融機関の指定	承認
物損事故の和解	承認
○予算	
平成17年度島田市一般会計予算	決
平成17年度島田市国民健康保険事業特別会計予算	決
平成17年度島田市簡易水道事業特別会計予算	決
平成17年度島田市交通災害共済事業特別会計予算	決
平成17年度島田市土地取得事業特別会計予算	決
平成17年度島田市休日急患診療事業特別会計予算	決
平成17年度島田市老人保健医療事業特別会計予算	決
平成17年度島田市公共下水道事業特別会計予算	決
平成17年度島田市介護保険事業特別会計予算	決
平成17年度島田市介護サービス事業特別会計予算	決
平成17年度島田市水道事業会計予算	決
平成17年度島田市病院事業会計予算	決
○条例等	
島田市議会会議規則	決

島田市議会委員会条例	可	決
島田市議会事務局設置条例	可	決
島田市議会政務調査費の交付に関する条例	可	決
島田市表彰条例	可	決
政治倫理の確立のための島田市長の資産等の公開に関する条例	可	決
島田市・北榛原地区衛生消防組合を組織する地方公共団体の数の増減及び規約変更	可	決
静岡県大井川広域水道企業団を組織する地方公共団体の数の減少及び規約の変更	可	決
島田市参与設置条例	否	決
○一般		
市長の専決処分事項の指定	可	決
収入役の選任	同	意
監査委員の選任(2名)	同	意
教育委員会委員の任命(5名)	同	意
公平委員会委員の選任(3名)	同	意
固定資産評価審査委員会委員の選任(6名)	同	意
固定資産評価員の選任	同	意
工事請負契約		
(島田市立大津小学校校舎等増築工事(建築工事))	可	決
特別委員会の設置(4委員会)	可	決

## 議案に対するQ&A

市長から提出された議案に対し、12名の議員が112問を問いました。

### 伊太田地区温泉掘削事業は?

**問** 温泉探査等調査事業費1億3700万円は合併特例債を使うのか。

**答** 合併特例債は使わず、一般的な建設事業に充てる起債を予定している。その他に、高速交通基金を取り崩して充当する予定である。

**問** 契約方法は。  
**答** 契約方法は成功報酬型である。

### 伊太田地区土地利用策定計画事業は?

**問** 委託料の中身は。

**答** 自然環境保全復元計画を含む田代の郷整備計画を策定経費として1500万円、クマタカ等の生態系の環境保全復元にかかるアドバイス経費として300万円を計上している。

### 空港対策地域振興策定事業は?

**問** 日本航空学園との交流事業とは何か。委託料、

旅費の内容は。

**答** 新市建設計画にある航空関連専門学校誘致に向け、山梨県にある日本航空学園を市民に知ってもらうため同学園のミュージカル公演を予定している。委託料は、公演委託料300万円である。旅費は、市および地元団体や商工団体による同学園を登校および山梨校訪問を計上している。

### 市営住宅の工費

**問** 計画的修繕及び緊急補修の内容と今後のあり方。

**答** 計画的修繕は、住宅団地ごとに年次計画を立てて実施する。緊急補修は、入居者からの通報や住宅パトロール等で発見した小規模な修繕をする。老朽化のため今後にも必要な修繕を実施していく。

### 参与設置条例について

**問** 助役との違いは。  
**答** 法的根拠により「助役」は市長の補助機関として設置される常勤の特別職である。「参与」は、行政

運営面において専門的なアドバイザーとして助言を行うものであり、決裁・処分に関する権限はない。

**問** なぜ金谷地区のためだけに参与を設置するのか。  
**答** 新市長は島田地区から出たので、金谷地区のこれまでの施策の推進経過などに特殊な事情等があった場合に、意見を伺うため金谷地区に精通した方を必要と考えた。

### 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業、訪問理美容サービス事業について

**答** 寝具類等洗濯乾燥消毒サービス事業は、島田地区は静岡県志太綿業組合島田支部、金谷地区は金谷ふとん商組合に委託している。

訪問理美容サービス事業は、島田地区は静岡県理容生活衛生同業組合島田支部と静岡県美容生活衛生同業組合島田支部、金谷地区はそれぞれ同組合の金谷支部に委託している。サービス対象者は25名を予定している。

# ザッ討論

## 賛成 VS 反対

### ○平成17年度島田市一般会計予算

反対意見

合併後、初めての予算は「暮らしを守る政治を」との市民の期待に応える内容でなければならぬ。しかし合併協議では国保、介護保険など市民負担になるものの調整は後年度に先送りしている。また旧金谷町での先進サービスの「乳幼児医療費の完全無料化」や「介護者への介護手当て支給事業」「敬老祝い品の75歳以上全員支給」など、全市に実施すると財政的に負担になるからと、これらを廃止するなどしている。「サービスは高い方に合わせ、負担は低い方に合わせる」という合併の当初の約束は守られておらず、市民の期待に応える予算とはいえない。また、県の大型公共事業である空港建設への後押しや、幼稚園・保育園の民営化推進は認められない。

反対意見

今、世界は20世紀末の重工業が行き詰まり、次の時代の「知識と情報の時代」に転換しようとしている。そのような中で、島田市の予算編成が21世紀のあるべき社会を見据えた予算配分であるかどうかを財政学の基本から検証した結果、桜井市長が編成した予算は短期的な満足を住民に与えるが、歴史の峠を越えていく危機意識の元で予算付けしたとはいえない。単に集まってくる税や依存財源を20世紀の社会システムを延長線上で編成したに過ぎない、という結論に至ったので本予算に反対する。

賛成意見

今回の予算は、歳入については、自主財源の確保として、特定目的基金の活用や長期保有土地の処分促進を図るなど、所要の財源の確保に努めている。

結果

賛成多数により

可決

歳出については、島田駅南口開設事業や五和小学校の耐震化を図るなど、重点的な資金配分に努めており、さらにコミュニティバス運行事業の拡充、さわやか子育て支援金支給事業などの少子化対策、住宅リフォーム推進事業などの地域経済活性化策、かなや大井川緑地など運動施設整備事業など、諸事業が予算化されていることは、合併を契機に市民サービスの一層の向上を図るものとして、評価すべきものである。

全体として、歳出のバランスと将来につながる施策の展開を念頭に置いた適切な予算であると考える。

### ○島田市参与設置条例

反対意見

参与は、2年間の任期で、報酬50万円を受け取るのに、何の仕事も権限もない。合併のメリットとしてきた経費節減にも逆行する、税金の無駄づかいのそのものだ。市長の金谷地域の相談役ということだが、支所長や職員を配置している。地域では、自治推進委員や議員の働きもある。市長の権限を強化するより、助役をきちんと置いて市政運営にあたるべきだ。そして、行政と市民が協働して住みよいまちづくりをしていくことが必要だ。

反対意見

議案質疑においても委員会の議論でも、その必要性が明確にならなかった。何の権限も付与されないポストはただの飾り物といわざるを得ない。そのような飾りに月額50万円を支払うほど新島田市の財政は豊かではない。旧金谷町長に意見を聞く必要があるならば、それなりの会議を持ち、報告費としてあるいは情報収集のための会合ならば、市長交際費から支払うことも可能だ。旧島田市と旧金谷町の住民の融和を図るために、特に参与を設置する必要があるとは思えない。

賛成意見



島田市参与設置条例は、市政の円滑な運営を図るため、参与1人を設置するものである。そして旧島田市と旧金谷町の合併に起因する住民の不安を取り除き、さまざまな事務処理を円滑に進めることが、新市の最重要課題のひとつであり、旧金谷町民が強く要望するものである。よってその認識に基づき金谷地区のこれまでの行政運営全般について、経過・実情等を踏まえた上で市長に助言や意見具申を行う職を設けて、安定した行政運営を行おうとすることは高く評価すべきものである。

従って設置しようとする参与の機能が十分発揮され、新島田市の区域を問わず住民サービスの向上が図れるという期待を込め、本条例の制定を適切なものとする。

結果

賛成少数により

否決

# 民生病院常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。一般会計予算案に対する主な質疑は、次のとおりです。

## 環境にやさしい店舗認定事業は？

**答**ごみ減量化およびリサイクルの推進に積極的に取り組む市内の小売店舗をエコショップとして認定し、市民の環境保全に対する意識を高めることなどを目的とした事業である。



エコショップしまだ認定証シール

認定の基準は、簡易包装、マイバックの利用促進、店舗での牛乳パックやペットボトル等の資源物回収、エコマーク等についた商品の販売、事務用紙等への再生紙使用など10項目のうち3項目以上該当する店を認定するもので、認定された場合は、「エコショップ島田認定証」のシールを店舗に掲示する。

## 金谷地区コミュニティバスの運行について

**答**島田地区は通勤や通学

に合わせて運行しているが、金谷地区は高齢者等が買い物などに利用するお出かけバスとして運行している。今後は全体的な交通体系も含め、運行時や回数など協議会で検討していく。

## 敬老事業における敬老祝品について

**答**合併の調整により、節目の77歳、88歳、99歳、100歳以上を対象に実施する。

# 経済建設常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。一般会計予算案に対する主な質疑は、次のとおりです。

## JR島田駅南口開設事業について

**問**同事業の計画について、また市民からの意見はどのような形で集めたか。

**答**平成17年度から4年間での実施を計画している。市民からの意見は、市のホームページ等で募った。なお、市民の代表9名からなる、島田駅デザイン検討会を立ち上げた。本年度行う実施設計に反映させるため、10月上旬までにとりまとめる予定である。



島田駅北口イメージパース

## 蓬萊橋の流木どめは、どのような形になるのか？

**答**京都嵐山にある渡月橋のような形を想定しているが、設置基数や構造など国交省と協議中である。

## 地域経済活性化対策推進事業（新築住宅助成）の効果は？

**答**平成14、16年度の実績として、定住の関係は34件、94人の転入があった。産業への活性ということでは1億6800万円を補助、この事業の対象となった住宅建築費は63億円となっている。事業の波及効果は1・57倍、雇用誘発人数140人という結果が出た（平成15年度実績）。

# 総務教育常任委員会

付託された議案の審査を行い、すべて可決すべきものと決定しました。（その内容と設置条例は可否同数のため委員長採決） 審査内容は次のとおりです。

## ☆一般会計予算の審査

**問**電子自治体推進経費の中で、遅れている地域の情報網整備の見直しは？

**答**伊久身地区の一部地域については、整備が進展していくと思うが、まだ時間がかかる。

**問**選挙におけるホームページでの開票速報の問題点は？

**答**アクセスが集中して開けない状態があった。問題点を確認して適切な対応をとっていく。

**問**幼稚園の民営化の状況は？

**答**移管選考委員会の答申書は現在手続中。合併や選挙等で全体的に時期が延びてきたが、学校法人を新たにつくる場合には、県の私学振興協議会への書類提出期限もあり、選考を急いだ。現在平成19年4月を開園目標としている。

**問**教職員の駐車場料金の減免はできないのか？

**答**減免措置は基本的に生活困窮者を前提としているので、減免扱いはしない。

☆参与設置条例の審査

**反対**安心になるか疑問、報酬金額50万円は一般通念上高い。支所長もいるので十分、設置は合併の趣旨に反する。議員も地域のアドバイザーであり、あえて参与を置かなくてもいい。1日も早く助役を置いて、合併後の新しいまちづくりを望む。

**賛成**意見具申は旧金谷町民の安心につながるもので、認めてもいい。参与を置くのは、民間ではよくある事で、必要であれば市長が施策を相談するのは自然な形。地域経営安定の面で意味がある。

**採決結果**可否同数となったため委員長採決、仕事の将来性に見合う成果を期待することとし、可決すべきものとした。

# 一般質問

## 19人の議員が市政を問う

### 子ども達に渡せない 歴史教科書



さくらい ようこ  
桜井洋子 議員

### コミュニティバス 運行の充実を！

**問** 「新しい歴史教科書をつくる会」の歴史・公民教科書は、戦争を賛美し平和憲法を攻撃するなど明らかな歴史事実の間違ひ、独善的な叙述、価値観の押しつけなど重大な問題を抱えており、教科書としてふさわしくない。文部科学省の検定に通ったこと自体問題だが、採択すべきでないと考え、採が教育長の見解を伺う。

**答** 送付された社会科教科書は7社で、すべて検定をクリアしている。今、採択業務が進行中なので適否を表明するのは、避けたい。採択の協議会で専門教員の研究報告、意見等を尊重していく。



採択されるのはどの教科書か？

**問** ①伊久身線の朝夕の増発や市民病院やばらの丘団地への乗り入れなど利便性を図るべきだがいかがか。②バス路線のない「六合東町」「蓬萊橋」などの主要観光施設「ルート」の開通が望まれているがどうか。

**答** ①伊久身線の増発は、経費との兼ね合いもあり

現在考えていない。市民病院への乗り入れは、しずてつの路線と競合するため困難だ。ばらの丘団地内は、一時間サイクルの定時刻運行からみて、路線の延長、変更は考えていない。②運行していかない地区は、今後新市全域のバス交通体系を検討する中で考えていきたい。

※この他にも、白岩寺公園の利用者のために、トイレの整備、ハイキングコースの整備、展望台の充実を求めました。

### 乳幼児医療費制度の再考は？



さかし た おさむ  
坂下 修 議員

**問** 乳幼児医療就学前無料制度は旧金谷町が平成9年から実施している、より良い子育て支援策であると捉えている。将来において再考する考えはないか？

**答** 通院時の窓口徴収額については、合併協議の中で1回500円を月2回まで負担が確認されており、市の財政事情も考慮する中で、一定の負担を

子どもたちの医療費制度を！



念頭に置いて策定し、諸事業の着実な実施を考えている。

### 旧金谷町議会特別委員会の提言は？

して頂くことは必要と考えている。完全無料化は、現時点で見直しを考えていない。

### 短期財政計画の詳細は？

**問** 施政方針の中で合併による行政経費の簡素合理化を図る財政運営の指針として短期財政計画を策定とあるが、詳細は？

**答** 合併後10年間の長期財政計画を補完するもので、3年間程度を見込んでいく。新市のあるべき姿を

**問** 旧金谷町3月議会での市内循環アクセスは生活基盤路、交流において必要と捉えた、金谷・初倉間を結ぶ住吉・金谷線二軒家バイパスの整備推進、金谷・島田間を結ぶ大井川橋の交通ルートをさらに充実させ整備を図るなど、旧金谷町総合交通対策特別委員会の提言をどう捉えているのか？

**答** 新市として十分に尊重し、具体化に向けて取り組む。新市建設計画では、交通機能強化による地域内連携の促進を施策の柱として、地域内道路交通ネットワーク化形成事業を展開するとともに、新市における県事業として推進する主要事業に位置づけている。

# 金谷の新しい町名はいつから?



はらき  
原 忍  
議員

**問** 金谷地区の新たな住所の町名の名称など十分な協議検討は、いつごろからどのように行っているのか。

**答** 町名の表示については、住民生活に深くかわることで、大変重要なものであり、実施にあたっては町内の住民の意思統一が必要と考えている。

今年の秋ごろから各町内の説明会を行い、統一ができれば再来年から始めていきたいと思う。

旧島田市では、3年ないし4年で実施しており、金谷地区についても、そのような段取りで進めたいと思っている。



金谷地区を巡回しているコミュニティバス

## 金谷コミュニティバス休日運行は?

**問** 金谷地区のコミュニティバスの休日運行はできないか。また、1台での運行のため、利用時間が地域が限られており大変不便である。

台数の増備、運行時間の拡大について、どのように考えているか。

**答** 金谷地域のコミュニティバスについては、ご指摘のとおりで、検討する価値があると思っている。とりあえず、休日をどうするかということを中心に考えて検討していきたい。

台数の増備、運行時間の拡大については、今後利用状況および住民の要望等を見た上で考えていきたいと思っている。



まつもと  
松本 さとし  
議員

## 医療6年まで学校費を無料に!

**問** 誰もが安心して子どもを産み、育てられる島田市にするため「乳幼児への医療費の助成制度」の充実をさらに図ることが必要と思う。そのため、通院で病院に支払う自己負担(1回500円、月2回まで)をなくし、完全無料化に踏み切るべきだと思うがどうか。また対象年齢は、現在6歳未満までである。これを小学校6年生までに拡大すべきではないか。

**答** 合併をしたので、旧金谷町でも1回500円を月2回まで負担してもらう。無料にする考えはない。助成対象を小学校6年生までにする、1億3400万円かかるので困難だ。ただ、所得制限を設けていることについては、少数自治体なので、これを今後も続けるか、なくすかは検討したい。

## 先生からの駐車料金徴収は問題

**問** 平成16年9月に始めた小中学校の先生からの駐車料金の徴収を、平成17年3月末で取りやめた経緯がある。これは当然で、

徴収したこと事体大きな問題である。ところが再開する方針とのことだ。先生の自家用車は「家庭訪問」「出張」等、教育活動で必要のため、公用車として認められている。駐車料金徴収はすべきでないと考えているがどうか。

**答** 先生の車が教育活動のために必要であり、公用車として使用されているのは十分承知した上でおこなう。理由は市職員からも徴収しているからだ。



子どもの診察 (市民病院にて)

# 公共下水道の実施を 金谷地区に！



まつだよしかつ  
**松田和克議員**

## 今後、広域合併は 考えているか

**問** 1市1町の合併だけでは将来的な展望はない。空港、第二東名の活用周辺市町村との広域的な取り組みが必要である。広域

合併について市長の考えを伺う。

**答** 当面は新市における諸政策の安定化や定着化などを図る必要があると考えているが、今後の広域合併においては、前向きに検討していきたいと考えている。

**問** 金谷地区は地下水を水源として6980戸に給水している。近年これらを取り巻く周辺の環境が著しく変化し、排水される汚水等により河川の汚濁はもとより、地下水の水質汚染の要因となるので、早期に公共下水道の実施を進めるべきであると思うがどうか。

**答** 新市において新たに検討することとしており、現在検討のための準備を進めている。



島田地区の下水を浄化している施設（島田浄化センター）

# 金谷IC(仮称)周辺の 地域開発は？

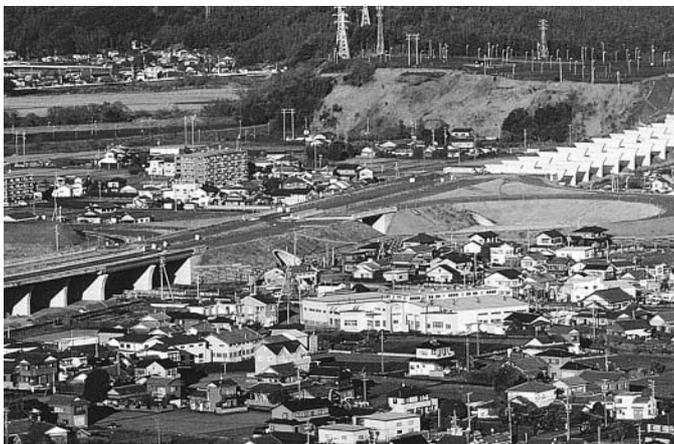
すぎむらようせい  
**杉村要星議員**



**問** 現在、金谷地区に第二東名および(仮称)金谷インターチェンジ(IC)が建設されている。確かにICの開通によってこの地域の交通の便は良くなるわけだが、ただ単に車が通過するだけのICになってしまったのでは何らこの地域の発展にはつながらない。IC周辺に商業施設や観光施設等ができて川根方面に向かう観光客に立ち寄ってもらい、いろいろな物を求めても

や工場等が進出してきて地域の人たちの雇用が促進されたりということではなければならぬ。しかしIC周辺は優良農地として農振地域に指定されており、ほかの用途への転用が極めて難しい状況となっている。そこでいかにしてこの農振除外の問題をクリアしてこの地域の発展を図ろうとするのか伺う。

合商業施設より楽だが、これを何とかするにはどうしたらいいかというところでは、代替農地をどこかへ確保しなければならぬと思う。ではその代替農地をどこに確保するのかという問題になってくるわけだが、まだ検討するための時間は十分あると思う。また、国の政策もあるので農政に強い政治家をうまく使っていく必要があるかと思う。いずれにせよ長期戦で今から準備をしていきたいと考える。



第二東名金谷IC(仮称)付近の現況

# 茶業の振興を 目指して



くればやし みつぐ  
**紅林 貢議員**

**問** 茶業界全体で茶業振興に取り組みべきだと考えるが施策を考えているか何う。

**答** 生産者、茶商、JA、行政が一体となって島田茶、金谷茶のブランド確立を図って。

**問** 農家の担い手育成推進対策を何う。

**答** 仮称島田市担い手育成

総合支援協議会を設立し担い手に対する支援を集中的に講じていく。

**問** 畑地灌漑施設整備の今後の計画を何う。

**答** 島田地区では平成20年には第2ステージまで全地区完成見込みであり、金谷地区については事業完了の平成25年までに進捗率が高まるよう話し合いを進めていく。

**問** 茶園基盤整備事業推進



基盤整備された茶園 (湯日地区)

に必要な種地確保について考えを何う。

**答** 一定規模の種地確保は大変困難であるが、種地確保は必要不可欠であることから、希望に沿うよう努めていく。

**問** お茶がんばる課の仕事は何か何う。

**答** 当面、足しげく農家の所を回り、生産農家の生の声を聞くことを重点的に行っていく。

## 親しめる湯日川を 取り戻そう

**問** 親しめる川、水遊びのできる湯日川を取り戻す取り組みについて何う。

**答** 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への付け替えについて、補助額の高い旧金谷町の基準に合わせ付け替えの促進をはかることとした。合併処理浄化槽の普及推進や、環境にやさしいライフスタイルへの取り組みの促進啓発、地域での環境美化活動に協力いただくなど、河川の美化、浄化に努めていく。



なかだゆうこ  
**仲田裕子 議員**

## お茶がんばる課の目玉はなに？

**問** 博物館を兼ねた文化施設お茶の郷の中に「お茶がんばる課」が設置されたが、その目玉は何か。

**答** 茶業は当市の基幹産業であり、その振興を図ることは極めて重要である。お茶の郷の管理運営を通して茶産地をアピールし、生産者の生の声を集約し、基盤整備・企業の経営を進めたいと思っている。

**問** 多額の補てんをしているお茶の郷の運営は大変であるが多くの市民にお

茶の博物館を活用してもらうために「市民無料デー」をつくってはいかか。

**答** 検討するが、運営も厳しく多額な出費もあるので将来は、指定管理者制度とか民間の茶関係者にやってもらうのが一番良いと思う。

**問** お茶管理機械導入資金補助金市単独事業の検討はないか。

**答** 新市としてはその支援は考えていない。行政が何をやるかではなく茶生産者の現場の声を聞き行

政の力が必要であれば支援するつもりである。

## 産業廃棄物の件

**問** 地元・行政・業者との「三者協定書」に関する行政指導「臭気対策契約書」の期限の遂行指導。

**答** 三者協定の一員として監視の目を強化していく。

**問** 太平洋産業事務所への撤去は可能か。

**答** 県の方に働きかけていく。



「お茶の郷」内に新設された「お茶がんばる課」の案内看板

# 金谷町の表示変更を 早急に！



こむらたけひこ  
**小椋健彦 議員**

## 大井川に 豊かな水を

**問** 新島田市になって、はや1カ月以上が経つが、本来島田市に変更しなければならぬ、各所の表示が金谷町のままで残っている。新島田市民として解け合うためにも、一刻も早く変更を。

**答** 道路関係の表示変更は、各道路管理者が担当することになっているので、関係機関と連携を図りながら早急に修正していく。島田市で行うべき表示変更については、今議会において予算が議決され次第、順次早急に変更していく。



表示変更がされていない看板（7月撮影）

**問** 30年ぶりに更新を迎える大井川最上流部の田代ダムの水利権をめぐる各協議会へ積極的に参加し、リーダーシップをとってほしい。鮎がたくさん釣れる「清流大井川」を取り戻し、市内流域には、自然を生かした親水公園や子どもが自由に遊べる子ども専用の「チビッコ広場」、鮎釣り愛好者のための専用駐車場の整備等について伺う。

**答** 東京電力田代川第二発電所の水利権更新について協議する大井川水利流量調整協議会には発足当時から参加している。他の協議会には新市誕生後、参加している。親水公園については大井川公園基本構想に基づき横岡から牛尾に造るべきと国交省に働きかけている。チビッコ広場については博物館前の東海道五十三次の石碑があった所に検討していくことを考えている。



ただお  
**福田正男 議員**

## 回転道路は建設されるのか!?

**問** 県道大井川橋渋滞解消対策として、4500万円の税金をかけて稲荷町に回転道路を整備することだが、それよりも、終日右折禁止にして、どの程度渋滞が緩和されるのか実験してみてもどうか。また、回転道路を造るよりも、せっかく金谷町と合併したので、合併特例債を使い、大井川橋の橋脚を広げて右折ラインを作ってはどうか。

**答** 公安が許可してくれればすぐにでも終日右折禁止にしている。とにかく暫定的でも、早く渋滞対策をしないと、深刻な問題になるということで4千数百万円で、回転道路を造り、終日右折禁止にできれば、渋滞の緩和になると思う。

## 新島田市の職員削減計画はいかに

**問** 職員削減については5年をめどに定員適正化計

画を作るということだが、合併の真の目的は肥大化した行政組織をスリム化し、金の掛からない行政組織にしようというのがねらいだ。行政サービスを下げて適材適所で職員を上手く使う人材活用計画があれば伺う。

**答** 何年かは、人事異動に際しては、所属長への職員配置要望、職員に対しては意向調査、自身の意欲、意識の向上等を図る施策を行ってきた。これからも適材適所に努めていきたい。



回転道路建設予定地（稲荷町）

# 新島田市の観光行政の体制は？



ひらまつよしのり  
**平松吉祝** 議員

**問** 合併という歴史的な決断により誕生した新島田市における観光行政について伺う。

**答** 今後の観光行政は、島田地区・金谷地区それぞれの歴史を重ねてきた貴重な文化や史跡を活用し、関係団体との連携を図り

ながら、官民一体となつた取り組みを行っていきたい。

**問** 観光行政を活性化させるポイントは、多くの団体との連携によると考えられているが、どのように対応していくのか伺う。

**答** 各種団体等と今まで以上に連携をとり、一般市民およびNPOの参加を

図っていき、新島田市の観光PR、観光振興を精力的に展開していきたい。

## 今後の六合小学校の周辺整備は

**問** 六合小学校のグラウンドおよび周辺の門扉やフェンス等の整備について伺う。

**答** 今年度の工事は、体育器具庫・屋内トイレ・夜間照明施設などの建築工事と、グラウンド整備・散水施設・遊具設置・防球ネット設置などの土木工事を予定している。

**問** 六合小学校における放課後児童クラブの整備計画について伺う。

**答** 新市短期計画において今後整備が計画されている六合公民館の中に位置づけられている。



工事中の六合小学校グラウンド

## 小規模多機能施設の早期整備を！

かわらざききよし  
**河原崎 聖** 議員



援・防災の拠点になることも期待される。市はこれについてどのような取り組みを組む考えか。

**答** 現在のところ整備の予定はないが、今年度第3期介護保険事業計画を策定する中でこのサービスの必要性・必要量等について検討していく。また、この施設の性格上全ての機能を有することは現実的でないため、(仮称)地域包括支援センター運営協議会を中心として介護関連事業所・医師会・NPOなどのネットワークを形成し、一体となつてサポートしていく必要があると考えている。今

後国から示される具体的な指針を踏まえて取り組んでいく。

## 中山間地に衛生携帯電話を

**問** 災害時の通信手段確保のため衛生携帯電話を設置する考えはないか。

**答** 今まで無線の届かなかった伊久身地区の一部でも、旧金谷町で使用していたMCA無線機が活用できることがわかったが、今後衛星携帯電話も含めて通信設備の充実を図っていきたい。



**問** 今後10年間で65歳以上が急激に増加し介護需要が高まることが予想され、施設不足が明らかになる中、介護保険法の改正で高齢者が在宅のままサービスを受けられる地域福祉の充実を図る必要が生じている。小規模多機能施設は宅老所をモデルに、自宅から歩いていける範囲にデイサービス等を受けられる拠点を作ろうというもので、将来的には障害者福祉・子育て支

# 3年も全面通行止！ 安全対策強化を！

むらたちこ  
村田千鶴子 議員



考えている。駅北区画整理地区内の現道に歩道の設置や駅南側水路に暗渠工事を行う。②運行については、新市全域のバス交通体系を検討する中で暫定的にできるか考えていきたい。

## 新しい病院建設への市長の考えは？

**答**平成25年度を目標に基金50億円程度と、さらに合併特例債を使い、建設地は高齢者対策に長期療

養型として活用する現市民病院の近くが望ましいと考える。

## 喫煙所としてあるべき姿に！

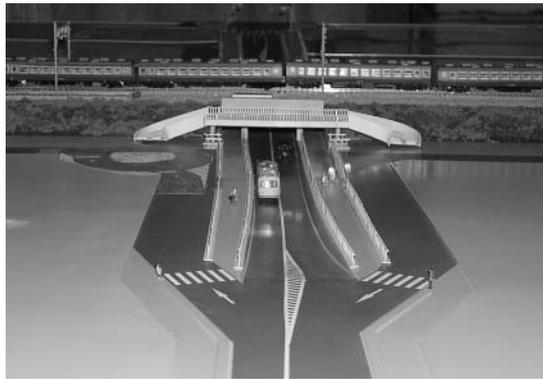
**問**平成16年8月1日より公共施設内は全面禁煙となった。現喫煙場所の見直しについて何う。

**答**嫌煙権のみではなく喫煙権への配慮も必要と考え早期に改善する。たばこのポイ捨ても実態を十分に調査し対応を検討する。

**問**①横井元島田線のJR交差に関わる工事は、この7月下旬に着手し平成20年3月の完成予定である。全面通行止に伴い通勤時間帯は多くの車両が周辺道路に分散することが予想される。児童の通園、通学路変更と地域住民の安全確保はどうか。

**答**②駅南地域に段階的にコミュニティバス運行の早期実現により交通渋滞緩和と環境保全が図られると考えるがいかか何う。また工事期間中は交通状況を把握し適切な対応を強く要望する。

**問**①誘導保安員の配置は朝6時～夜10時までイナヅマガードの南北入口に各1名、原坪踏切に1名を朝7時～8時までと午後2時～5時までを当面



横井元島田線JRアンダーパス事業完成予想図

## コミュニティバスと 県道の渋滞対策は？

そねよしあき  
曾根嘉明 議員



**問**県道島田大井川線の道幅が狭く、自転車歩行者が大変危険な状況に置かれている。拡幅工事計画はどのようになっているか何う。

**答**島田市分の路線延長は約2kmで、県で改良計画予定区間がおおむね1500m程ある。小川島田

線の交差点北側の150m区間については合併支援事業の中で、県の採択をお願い中である。

## 六合公民館の建設の時期と規模は？

**答**新市短期計画に基づき各地区の意見、近隣の公民館の規模等を総合的に判断して対応する。

また、異年齢の交流場所、放課後児童クラブ等の設置も考えられる。

**問**コミュニティバスの今後の運営計画について何う。地域の大切な公共交通として期待されているが、六合東町のように現在走っていない地区への導入計画はどうか何う。

**答**総合的に判断して、平成19年か20年頃に駅南口の開設、道悦・旭町線の開通、また旧国一の大井川橋の渋滞、そういうものが大体解決していくので、その時点で考えたい。今の湯日線、大津線は昼



東町内の通勤通学時の様子

# 小学校3年へ医療費助成拡大意欲



とみざわひろあき  
**富澤保宏** 議員

**問** これまで日本の子育て支援は、現場の声の届く地方自治体が率先して取り組み、国の政策をリードしてきた。今後の取り組みを問う。

② 学校の通学路の安全確保とポケットパーク整備の取り組みを示せ。

**答** 所信表明で国を動かすよう地方から先端を行くと述べたように、予算を増額しながら、できることからやっていきたい。① 子どもの医療費については、小学校3年生までの拡大を財政的な確認ができれば、18年度に反映したいと思っている。②



狭く、見通しの悪い県道蔵田島田線

毎年、PTAと協力し安全マップ作りや親子安全ウォークラリー等の実施をしている。危険箇所は校長会で取りまとめ市に要望。ポケットパークは6カ所の整備を予定。  
**問** 中山間地域の安全確保、道路整備や災害時の対処、川根分署からの救急活動の展開、救急車到着までの医療アドバイスの対応を充実せよ。  
**答** 長島地区について、平成19年度までに、延長240mの改良事業を実施し、今後の改良も県に働きかけてゆく。川根分署の利用は伊久身地域など、現地への救急車到着時間の大幅な短縮が見込まれ、検討価値がある。救急車到着までの間、救急救命士が本署より電話対応し医師と連携する。



なかのこうじ  
**中野浩二** 議員

# 島田を健康とスポーツのまちへ！

**問** 伊太田代地区の利活用をどうする。

老人福祉センターは併設の形で同時に造ってほしい。  
第二東名工事の掘削土の埋め立ては、温泉掘削付近、温泉施設建設予定地、市道建設予定路線、陸上トラック建設予定地を優先していくよう、道路公団に対して要望している。  
**問** 中央公園の体育館とプールは耐震性がないがどうするのか。  
**答** 体育館とプール、弓道場は合築の形で新築を考えている。

本年度中に基本設計、19年度には着工したい。運営は公設民営の考えを入れて民間のノウハウを生かしたい。  
中央公園の敷地内に建設し、その間は既存の施設は存続させ完成後解体し多目的広場かグラウンドに。  
全国レベルの競技会ができる規格で建築したい。



伊太・田代の郷予定地

**答** 環境・健康などを基本コンセプトとして健康増進施設を整備していく構想だ。  
温泉施設は着工平成18年度中、オープン19年度末を予定。同時にコミバスを伊太へ入れる。  
温泉施設は伊太の皆さんで運営してはどうかかと思っている。  
400mトラックを計画している。

# ゆとりと豊かさって どんなもの？

津田恵子 議員



## 新ゴミ処理施設は たかくつく！

**問** ゴミ処理施設の試運転が平成18年1月から開始されるようだが、新焼却炉では何でも燃やすようだがゼロウェイストに逆流する。今後、分別システムを変更するのか。産業廃棄物も処理するのか。世界的に石油が高騰している。建設コスト、ランニングコストへの影響はどうなるのか。

**答** ごみの区分は、関係自治体の住民組織のごみ処理懇話会で協議し、燃やせないごみとして収集していたビニール、廃プラスチック類および硬質プラスチック類は、燃やせざるごみとして処理することと合意された。

**問** 市長は、『真にゆとりと豊かさを実感できるまちづくり』を目指すそうだが、ゆとりと豊かさとは何をさすのか、豊かさを実感できるとはどのようなことなのか。

**答** 産業廃棄物は、一緒に処理はできないという考え方ではあるが、ランニングコスト、経費の部分を含めて、何とか処理できる方向もあるのではないかと、今現在調査中。石油の高騰を含めランニングコストも試算中。

**答** 行政サービスがいかに島田市に住んでいる市民に対して行われるかがゆとり・豊かさだと思う。そのために、温浴施設、スポーツ施設、高齢者の施設、病院、子育て支援、交通アクセス、コミバス等を実施し、島田市に住みたいな、島田の方がいいなという気持ちにさせることである。



建設中の新ごみ処理施設

# 耐震化は時間との 闘い

橋本 清 議員



れる。また、今後の計画は国の「住宅建築物の地震防災推進会議」の提言を受けて、国、県の関係機関が協議し、その内容により対応していきたいと考えている。

## 市民の人命を最優先に！

**問** これまで医師にしか認められていなかった「気管内挿管」の救命措置が、平成16年7月から救急救命士でも行なえるようになった。しかしながら、救急救命士を対象にした訓練に協力する病院がある。

**答** 当院においては、いち早く麻酔科医師との協議を行い、その体制づくりを準備してきた。しかし、昨年からはまった新研修医制度によって、卒業後1年目の研修医が多数在籍しており、このための麻酔科研修を優先せざるを得ない状況である。その研修状況を見ながら、救急救命士の実習受け入れを検討している。

**問** 国の地震防災推進会議では10年後の住宅耐震化率を90%に引き上げる目標を設定しているが、市の耐震化率の現状と今後10年後の目標を90%とした場合、毎年何棟を目標とするか。また、今後の総合計画の中に数値目標の設定と公表することについてどうか。

**答** 現状における島田市の住宅耐震化率については、調査はしていないが、予想として45・8%と試算さ



4月に完成した市民病院の救急センター

# 茶業（中山間地区）の明日はどうか？

佐野義晴 議員



必要な機械化の遅れについて、開発機械の助成とか後押しできる施策はないか。

**問** 国庫補助採択要件（3ha以上、受益戸数3戸以上）に満たない茶園基盤整備への対応はないか。

**答** 現在はないので、新規支援制度の創設を県に強く要望していく。

**問** 中山間地域での作業の低減、省力化を図るのに

**答** 農業を側面から支援する意味で、生産者と企業との研究開発は大切なことであり採択に向けた支援を考える。

**問** 茶業が果たす社会貢献は大きく評価されているにもかかわらず、農家は高齢化、価格の低迷等から採算性は年々低下し生

産意欲は失われ将来が危惧されている。どのような施策で打開、発展を図るのか伺う。

**答** 提案として、既存の共同茶工場を外部委託部門とみため新たな管理事務組織をつくり（経営管理の一元化…作業管理、労働力、共同購入、土地の流動化、流通部門との連携強化）投資金額を抑えた強い経営体を確立させたらどうか。



耕作放棄された茶園

**答** 中山間地域はもとより、平野部においても切実な実態と改めて理解する中で、茶業の安定化、担い手支援策の機構づくり、研究の場づくりなど生産農家、茶商、農協等と十分協議を重ね指導的役割を担えるように努める。また、提案の新たな組織を立ち上げての経営システムは、今後の茶業発展の有効な手段の一つであると考えてるので、今後研究をしていく。

## 4 特別委員会を設置

島田市議会では、4つの特別委員会を設置し、それぞれの調査・研究を行います。

### 島田金谷かけ橋・交通体系調査特別委員会

「ヒト・モノ・情報」などの交流拠点として、大井川に架かる橋梁の役割は重要であることから、この橋梁を様々な交流の「かけ橋」または交通体系の中心として捉え、調査研究を行う。

委員 小椋 健彦  
曾根 嘉明  
村田千鶴子  
平松 吉祝  
飯塚 栄一  
坂下 修  
木野 慎吾  
竹島 茂吉  
原木 忍  
酒井 濟

委員長 中野 浩二  
副委員長 橋本 清

### 静岡空港・第二東名等による活性化対策特別委員会

静岡空港と第二東名を経済効果をもたらすプロジェクトと捉え調査研究を深め、実現化に向けた検討を行う。

委員長 松田 和克  
副委員長 河原崎 聖  
委員 福田 正男  
杉村 要星  
富澤 保宏  
小澤 嘉曜  
大塚修一郎

### お茶がんばる対策特別委員会

お茶の振興について調査研究し、活力あるまちになるための検討を行う。

委員長 小澤 嘉曜  
副委員長 平松 吉祝  
委員 佐野 義晴  
紅林 貢  
仲田 裕子  
中野 浩二  
松本 敏  
松田 和克

### 開かれた議会調査特別委員会

開かれた議会活動のあり方、議会広報やホームページによる情報提供の充実のための調査研究を行う。

委員長 津田 恵子  
副委員長 村田千鶴子  
委員 紅林 貢  
橋本 清  
桜井 洋子  
杉村 要星

議長 オブザーバー  
副議長 大池 幸男  
田島 建夫

### 意見書を採択しました

地方六団体改革案の早期議・決定するとともに、  
現実に関する意見書

(要約) 絶対認められないこと。

政府において、真の「三位一体の改革」の実現を図るため、残された課題等について、地方六団体の提案を十分踏まえ、改革案の実現を強く求めるものである。  
1、3兆円規模の税源移譲を確実に実現すること。  
2、生活保護費負担金及び義務教育費国庫負担金等の個別事項の最終的な取り扱いは、「国と地方の協議の場」において協議すること。  
3、地方交付税制度について地方交付税総額を確実に確保することともに、財源保障機能、財源調整機能を充実強化すること。  
4、地方六団体の改革案で示した平成19年度から21年度までの第2期改革案について政府の方針を早期に明示すること。  
5、地方交付税制度について地方交付税総額を確実に確保することともに、財源保障機能、財源調整機能を充実強化すること。  
以上 政府や国の関係機関に提出しました。

### 決議しました

高齢者の交通事故防止に関する決議 (要約)

交通事故のない「安全で安心に暮らせる社会」を実現することは、市民すべての願いであり、重要な課題である。特に、高齢者の交通安全対策を重点的に取り組むことが極めて喫緊の課題である。

者の交通事故防止に邁進することを決意するとともに、市民が「やさしさ」と思いやり」のある安全運転で、高齢者保護規定の徹底が図られるよう強く呼びかける。  
また、市当局においても高齢者の交通事故防止対策に全力を挙げて取り組むよう求める。  
以上 議会の意志として決議しました。

### 一部事務組合議会議員の紹介

駿遠学園管理組合  
議会議員

福田 正男  
原木 忍  
村田千鶴子  
津田 恵子

大井上水道企業団  
議会議員

紅林 貢  
松田 和克  
仲田 裕子  
酒井 清  
橋本

島田市・北榛原地区  
衛生消防組合  
議会議員

中野浩二 佐野義晴  
竹島茂吉 平松吉祝  
杉村要星 河原崎聖  
松本 敏 坂下 修  
富澤保宏 田島建夫  
小澤嘉曜 木野愼吾  
大塚修一郎 大池幸男

### 9月定例会の日程

第2回(9月)議会定例会の日程は次のとおりです。本会議の傍聴におこしください。いずれも10時開会です。

- 9月2日(金)本会議(議案上程)
- 9月13日(火)本会議(一般質問)
- 9月14日(水)本会議(一般質問)
- 9月15日(木)本会議(議案質疑)
- 9月16日(金)常任委員会
- 9月26日(月)本会議(最終日)

この予定は変更される場合がありますので、ご了承ください。

開かれた議会調査特別委員会が編集しています。ご意見ご感想をお寄せください。

島田市議会事務局  
〒427-8501 島田市中央町1番の1

☎ 0547-36-7204

Eメール gikai@city.shimada.shizuoka.jp

ホームページ http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai\_top.jsp



議会だより編集風景

### 編集後記

新市の息吹を感じながら向かえた6月定例会も終了しました。私たち議員も新島田市のよき姿を求め、議論を重ねていかなければと改めて感じています。市民の皆さんが必要と思う事柄について、十分な議論を行うのが議会の役割であると思っています。「議会だより」もそんな議会の様子を市民の皆さまに伝えられるようにしなければなりません。また、議会をもっと身近に感じ、市政に今以上の関心を持ってもらえるように紙面に工夫をし、編集していきたいと考えています。9月議会も始まります。多くの皆さんが傍聴に来てくださるよう期待をしています。

委員一同

### 開かれた議会調査特別委員会

委員長 津田 恵子  
副委員長 村田千鶴子  
委員 紅林 貢  
橋本 清  
桜井 洋子  
杉村 要星

オブザーバー  
議長 大池 幸男  
副議長 田島 建夫